

ベトレヘム学園 事業計画

【運営方針】

- ① 重点目標として以下を設定する。
 - ・子どもにとってはもちろん、職員にとっても安全で安心できる居心地の良い場所となることを目指す
 - ・「階層別に求められる役割」に基づいて、各職員が自身で目標を立てるとともに、OJTや面談等を通して人材育成を行う。
 - ・職員のメンタルケアの体制を整備し、力を入れる。
- ② 権利擁護について、少なくとも年1回研修を行う。
- ③ 個別対応職員やフリーの職員を配置することで、必要なホームに臨機応変に入る体制を整え、職員が安心して働ける環境に配慮する。

<中長期計画>

- ① 3棟目のグループホームを開設する。
- ② 育児機能強化事業や子育て支援カフェなど、地域の子育て支援の拠点となることを目指していく。
- ③ 東京都社会的養育推進計画の方向性に合わせて、施設の地域分散化(グループホームの開設)を推進する。
- ④ 地域分散化による空きホームの機能転換を検討していく。例えば、社会的養護自立支援事業、ショートステイ事業の実施、ナザレットの家と協働しての里親フォスタリング機関※の実施など。
 ※専属の職員を配置し、里親のリクルート及びアセスメント、里親に対する研修、児童と里親のマッチング、里親への支援を行う。
- ⑤ 社会的養護自立支援事業に関しては、措置年齢の延長という国の方針に対応するためにも、環境や職員を整備して取り組んでいく。

【人員体制】

施設長（会計責任者） 鈴木 ますみ

職 種		定 数	令和3年度3月末見込 常勤換算数（実人員）	令和4年度配置計画 常勤換算数（実人員）
国 基 準	施設長	1	1(1)	1(1)
	(副施設長)	—	(家庭支援専門相談員兼務)	
	事務員	1	2.7(4)	2.7(4)
	保育士・児童指導員	20	26.7(28)	29.7(31)
	個別対応職員	1	1(1)	1(1)
	家庭支援専門相談員	1+1(加算)	2(2)	2(2)

	栄養士	1	2(2)	2(2)	
	調理員等	4	4(4)	4(4)	
	嘱託医	1	(精神科医と兼務)	(精神科医と兼務)	
	加算	看護師	1	1(1)	1(1)
		里親支援専門相談員	1	1(1)	1(1)
		心理療法担当	1	1(1)	1(1)
		自立支援担当	1	1(1)	1(1)
	地域小規模児童指導員	8	6(6)	8(8)	
都 基 準	保育士・指導員 (専門ケア職員加算)	1	1(1)	1(1)	
	治療指導担当職員	1	2.4(3)	1.6(2)	
	小児精神科医	0.2	0.4(4)	0.4(4)	
	自立支援担当	1	1(1)	1(1)	
合 計		43.2	54.2(61)	58.4(65)	

【利用実績等】

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
定員	57人	57人	57人	57人
実績等	53人	45人	49人	51人
利用率	92.9%	78.9%	85.9%	89.4%

【支援方針】

- ① 重点目標として以下を設定する。
 - ・施設が居心地の良い場であるとともに自立支援を強化し、各児童にとって最適な自立をさせる。
 - ・日常から子どもと話をする機会を意識して作り、自立をして行く上で必要な、将来の夢や希望を見つけることを支援する。
- ② 自立支援の最終的な目的を、「就労または福祉サービスを利用して自活出来ること」等と明確にし、全職員で共有する。
- ③ 挨拶や「ありがとう」が当たり前と言えて、困った時にお願いをすることがスムーズに出来ることで、社会に出た時に愛される、助けてもらえる人となれるよう、普段から自然に出来るような環境を作る。
- ④ そのために、職員が率先して挨拶や「ありがとう」を言うことで、身近な社会人としての手本となる。

<中長期計画>

- ① 東京都社会的養育推進計画で求められている施設の高機能化（ケアニー

ズが高い児童に対する専門的なケアの充実)に向けて、人材育成も含めた本園の機能強化を図っていく。

- ② 措置年齢延長という国の方針に対応するために、社会的養護自立支援事業を実施する環境を整えていく。

【災害対策】

- ① 感染症対策についての総括や対応の更新を行うとともに、BCP（事業継続計画）を必要に応じて見直していく。
- ② ナザレットの家との防災訓練は、様々な想定で行う。
- ③ 夜間想定避難訓練と、炊き出し訓練を年一回行う。
- ④ 地域防災の観点から、白梅自治会との合同防災訓練を行うとともに、備蓄・備品・避難場所を確保する。
- ⑤ 危険個所の点検や、防犯対策の見直しを随意行う。

【地域との連携】

- ① 感染症の状況によって、白梅自治会との行事の共催を検討する。
- ② 清瀬市内の地域支援ネットワークへの参画を継続する。
- ③ 必要なボランティアについては、適宜募集していく。
- ④ 子育て支援活動は、ナザレットの家と協働し具体化する。

【職員の質の向上】

- ① 職員は階層別スキルをもとに各自目標成果シートを作成する。
- ② 目標成果シートをもとに、リーダー、副主任、主任、正副施設長による育成面談を行う。
- ③ グループホームの開設、地域支援となる子育て支援事業等の実施に向けて、職員の育成プログラムの見直しや研修の計画的な受講を行い、人材育成とともに定着に繋げる。
- ④ 現場の意見を取り入れる仕組みを見直していく。
- ⑤ 職員のモチベーション向上のために、職場環境や報酬等の外的要因だけでなく、認められる機会や子どもと楽しく過ごす体験等内的要因を重視していく。